

安心で安全なお洗濯のコツと雑学 その一

「驚愕!」の家庭用全自動ドラム式洗濯機

知人の家庭用ドラム式洗濯機のプログラミングを頼まりました。

洗濯機には自分でプログラムできるコースがあります。石けんで洗濯をするために、洗う時の水量を調べようと思って使用説明書を読みました。

載っていないので、メーカーに電話をしました。しかし、何度尋ねても「お答えできません」と言って全く教えてくれません。洗う時に洗濯機に溜まる水量が分からなければ、洗える洗濯物の量も出せないし、入れる石けんの量も決められません。すぎの水量も教えてもらえませんでした。何か教えられない事情でもあるのかと思えるほどの違和感を覚えました。

それで、石けん会社の方に「ドラム式が多くなってきた昨今、どのように指導されていますか?」と尋ねてみました。すると「私も以前、メーカーに尋ねてみましたが、ドラム式洗濯機で洗う時の水量は教えてくれませんでしたね。」と言われました。なんだか変な感じですね。

お餅つきのようにペタンペタン

それで仕方なくこれぐらいかなと目安をたてて洗濯をはじめました。スタートボタンを押してクルクルとドラムが回り始めましたが、一向に水が入りません。蛇口が開いてないのかとひねってみたり、何処を押せば水が入るのかとバタバタしていました。そこへ知人が来たので私は、「これ、どこ押したら水入るの?！」と、



焦って聞きました。依頼主である知人は「入ってるよ」と言います。「水、入ってないよ」と私。そんな押し問答が何度か繰り返されました。「えっ・・・これで水入ってるの?・・・」私は、呆然としました。

確かに洗濯物はぐっしり濡れています。だけど水はドラムに溜まっていません。そしてぐっしり濡れた洗濯物は、お餅つきのようにペタンペタンと回っています。

たとえば、タライに洗濯物を入れ、水を垂らして洗濯物をぐっしり濡らし、タライには水が溜まっていない状態で洗剤と抗菌剤を振りかけてペタンペタンと洗い、すぎも同じ容量ですすいで柔軟剤を振りかけます。これと同じことが行われています。

「これで洗濯??! いやいや、これは洗濯とは言わないよね!」ドラム式が普及していると聞いていましたが、**各家庭でこんな不衛生極まりないことが行われていたなんて、私はカルチャーショックを受けました。**

洗濯は、汚れを水に移し取るという作業

移し取る水が無ければ汚れは衣類に残ります。

そして雑菌が繁殖して部屋干し臭や生乾き臭

がします。それを防ぐために抗菌剤入りの洗剤が

必要になり、また、臭いをごまかすためにキツイ

柔軟剤の香りが必要になります。ドラム式洗濯機は、抗菌剤入り洗剤と

柔軟剤を売る為の機械なんだと私は思いました。

汚れがキッチンと水に移し取れていて、本来の洗濯という行為が完了し

ていれば、真夏に小さな部屋で1cmおきに干しても、干し忘れて籠の中

にまる一日置きっぱなしにしても、部屋干し臭も生乾き臭もしませ

ん。**洗濯で、水量の不足は致命的です。**部屋干し臭も生乾き臭もし

ないのが当たり前です。臭いが発生するのが異常事態です。立派な外見とは裏腹に、洗濯する(汚れを落とす)道具でないことに驚愕しました。

